

教育指導課 市内全中学校が音楽で心をひとつに 平成27年度庄原市中学校合唱コンクール

庄原市制施行10周年記念事業「平成27年度庄原市中学校合唱コンクール」を11月17日、庄原市民会館で開催しました。

市内の7中学校が一堂に会した合唱コンクールは初めての取り組みで、「全学的な音楽活動の表現や鑑賞を通して、生徒の感性を高め、豊かな情操を育むとともに、同世代の一体感がふるさと愛につながる」とをねらいとして実施。「5年後の成人式に、共に課題曲を歌おう」と主に3年生を対象に行いました。

各校順番に課題曲『そよぐ風の中で』(作詞:うらん、作曲:西澤健治)と自由曲の2曲を披露。どの学校の生徒も練習の成果を發揮し、心を込



各学校が美しいハーモニーを披露



閉会式で課題曲を全員で合唱

めて一生懸命歌う姿がありました。各学校の取り組みの紹介や合唱からお互いの学校の魅力について学ぶ機会となり、生徒同士の交流も深まりました。

来場者からは「歌う態度も聴く態度も立派な中学生の姿に感動した」「心をひとつにした歌声に胸が熱くなった」「美しいハーモニーに心が揺さぶられた」と高く評価されました。

同コンクールは来年度以降も継続して実施する予定です。

自治定住課 市内各地の事業所の若者が交流深める 若者異業種交流会クリスマスパーティーを開催



盛り上がる会場

しょうばら若者異業種交流会実行委員会が主催するクリスマスパーティーが12月12日、庄原グランドホテルで開催され、市内各地から約30の事業所72人が参加しました。

このイベントは、普段接点のない市内の若者同士が、新たなつながりをもつことを目的に開催。参加者は、実行委員が準備したゲームなどを楽しみながら、交流の輪を広げました。

委員長の小柳千紘さんは「とても盛り上がりました。庄原でたくさんの方々ができてうれしい、来て良かったという声が多く聞かれ、企画した甲斐がありました」と話していました。

同実行委員会では、今後も若い世代の交流を広げ、庄原を盛り上げるような活動を行っていきます。

商工観光課 「花と緑のまち・庄原」を切り取る 庄原ガーデンフォトコンテスト



グランプリ作品「水仙の丘」

庄原観光いちばん協議会は、「花と緑のまち・庄原」を募集テーマに庄原ガーデンフォトコンテストを開催しました。

10月3日～31日に作品を募集し、コスモスや節分草、桜、オーブンガーデン、緑豊かな里山の風景など、庄原の花と緑の魅力を取り取ったデジタル写真104作品が集まりました。

11月20日に行われた審査会で入賞作品6点が決定。入賞者には、宿泊券や比婆牛、特産品の詰め合わせなど庄原の魅力が詰まった賞品が送られます。

応募作品は、今後、庄原市の観光PR素材として、さまざまな場面で活用されます。

高野支所 創意工夫と個性的な地域づくりが高く評価 庄原市高野地域づくり未来塾が地域づくり表彰



木山市長に受賞報告する瀬尾さん(右)と宮野さん(左)

国土交通省による「平成27年度地域づくり表彰」で、庄原市高野地域づくり未来塾が「日本政策投資銀行賞」を受賞しました。

昭和59年度から始まったこの表彰制度は、創意と工夫を生かした広域的な地域づくりを通して、個性ある地域の整備・育成に顕著な功績があった団体を表彰するもので、本年度は全国から応募のあった優良事例49団体の中から選定されました。

庄原市高野地域づくり未来塾は平成20年に設立され、これまで中国横断自動車道の開通を見据え、本市のクラスターのまちづくり事業や、広島県の未来創造支援事業に関わる中で特産品開発や着地型観光の取り組みを進めてきました。

特産品開発では、地元産品を有効に活用した「高野の逸品100プロジェクト事業」を展開し、農家や加工業者の所得向上と新たな雇用の創出とともに、高齢者の生きがいづくりにも貢献しています。

着地型観光の推進では、民泊農家や体験メニュー提供者などで組織する「たかの遊☆学☆隊」と連携して取り組むことにより、平成27年度から教育旅行の本格的な受け入れが始まりました。

こうした一連の活動が高く評価され、このたびの受賞となりました。これを受け11月30日、塾長の瀬尾二六さんと高野の逸品100プロジェクト委員長の宮野幸博さんが市役所を訪れ、木山耕三市長に受賞を報告しました。

瀬尾さんは「高野道の開通という大きな出来事として、色々な取り組みを行って来ました。地域が元気であり続けるためには、これからが正念場と考え、引き続き頑張りたいです」と気持ちを新たにしました。

東城支所 平和と命の尊さを考える 東城人権啓発コンサート

11月14日、平和と命の尊さをテーマに「胡奏者の姜曉艶さんを招いた人権啓発コンサート」を東城文化ホールで開催しました。

この日は約150人が来場。姜さんの奏でる二胡の音色に合わせ、来場者は手拍子を打ったり、歌ったり、また演奏の合間に語られる話に涙を浮かべる場面もあり、心温まるひとときとなりました。

来場者の1人は



二胡の音色を響かせる姜さん

「姜さんの人柄に感激しました。明日から頑張ろうという気持ちになれる素晴らしい演奏でした」と感慨に浸っていました。

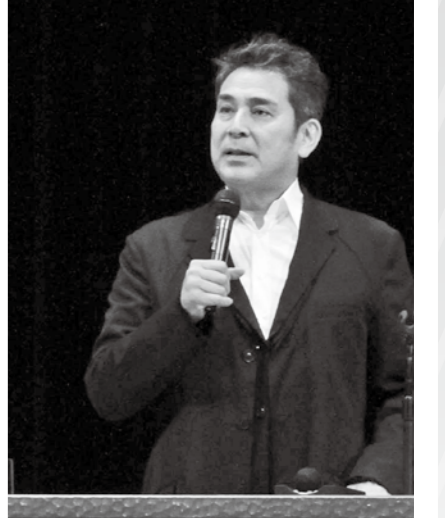
「立ち直った人の強さをまざまざと感じることができた」「何か一つ希望を持つて生き抜くということを教えられた」など多くの感想が寄せられました。

市民生活課 宇梶さんが人生経験を語る 庄原市人権講演会

12月10日、庄原市民会館で「庄原市人権講演会」を開催しました。

俳優の宇梶剛士さんが「転んだら、どう起きる?」と題して講演。宇梶さんは、自らの生い立ちや学生時代の挫折の経験、その後の出会いなどを振り返りながら、「自分の人生の主役は自分である」というメッセージを、時にはアクションも交えながら語り掛けました。

来場者アンケートには、「絶望か



講演する宇梶さん